

総有機フッ素スクリーニング検出事例について

ユーロフィン・プロダクト・テストング株式会社

弊社では燃烧イオンクロマトグラフィーを用いた総有機フッ素のスクリーニング分析サービスを実施しております。
今回は弊社にて無作為に選出したサンプル（コーティングが施された製品）に対し、当試験を実施したところ、総有機フッ素の検出が確認されました。（図1参照）

- 分析項目：総有機フッ素
- 試験方法：自社法
- 測定装置：燃烧イオンクロマトグラフ
- 定量下限値：1000 µg/kg

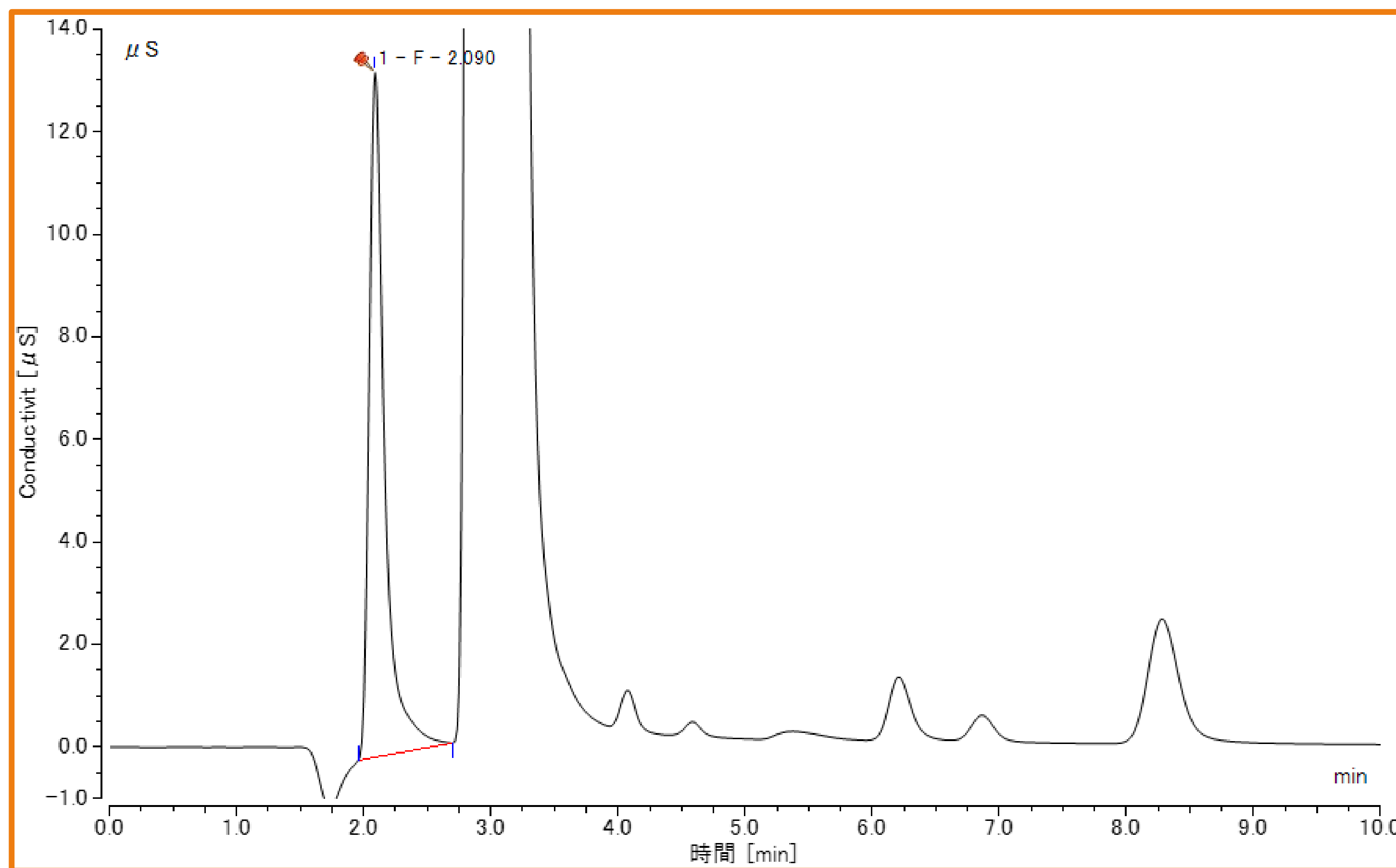


図1：燃烧イオンクロマトグラフィーの測定結果

上記スクリーニング試験にて総有機フッ素の検出が確認されたため、LC-MS/MSにてPFASの精密分析を実施したところ少なくとも3つのPFAS物質（PFPeA、PFHxA、PFHpA）の検出が確認されました。（図2参照）

PFBAについては弊社測定対象外のため確認はとれておりませんが、こちらにも検出している可能性があります。

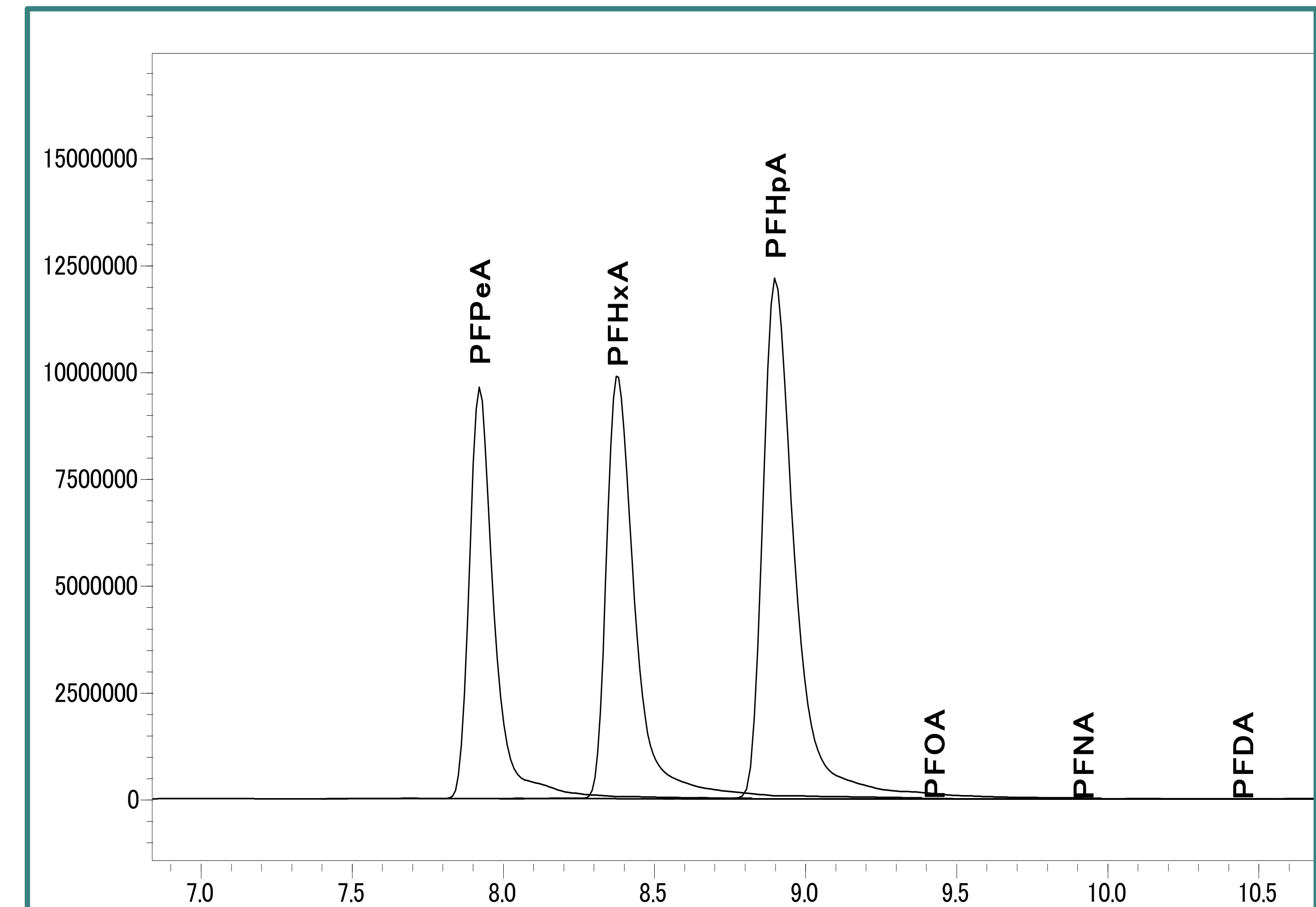


図2：LC-MS/MSの測定結果

PFASは私たちが日常生活で使用している食品包装材の表面処理や各種化粧品、消火剤等、様々な製品に使用されている可能性があります。

PFASは永遠の化学物質と呼ばれるほど自然界へ分解されるまでが長く、世界では様々な規制によるPFAS廃絶への動きが進んでいるため今後の動向には注視が必要です。

弊社では様々なPFAS化合物に対する分析サービスを実施しておりますので[こちら](#)よりぜひご確認ください。
本件に関するお問合せは[こちら](#)よりお気軽にご相談いただけます。